

(平成23年6月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>6月期の野菜の入荷状況は、根菜類、葉菜類、果菜類では、天候不順による生育の遅れ等から多くの品目で入荷減となった。一方、土物類では、バレイショで、前年の入荷が少なく入荷増となった。作柄が良好であったタマネギでは、前年並みの入荷となった。野菜全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。</p> <p>価格は、入荷減となった多くの品目で単価高となった。一方、前年高値であった土物類では、単価安となった。野菜全体としては前年同期を4%上回った。</p> <p>品目別には、キャベツ、バレイショが入荷増の単価安、西洋ニンジン、タマネギが入荷並の単価安、長ダイコン、レタス、ホウレンソウ、キュウリ、ナス、トマト、ピーマンが入荷減の単価高、ハクサイが入荷減の単価前年並みとなった。</p> <p>根菜類は、入荷が9%減少し、価格は4%高となった。 葉菜類は、入荷が6%減少し、価格は前年並みとなった。 果菜類は、入荷が13%減少し、価格は15%高となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は10%安となった。</p>
果 実	<p>6月期の果実の入荷状況は、天候不順の影響により生育の遅れ等がみられた柑橘類、ブドウ類、作付面積が減少したメロン類で入荷減となった。一方、豊作傾向であった桜桃、産地在庫量が多く堅調な入荷となったリンゴ類、中央集散機能の発揮がみられたスイカ類では入荷増となった。果実全体の入荷量は、前年同期を6%上回った。</p> <p>価格は、リンゴ類、桜桃、スイカ類では、入荷増により、単価安となった。柑橘類、ブドウ類、メロン類では、入荷減により単価高となった。果実全体では、前年同期を10%下回った。</p> <p>品目別には、ふじリンゴ、桜桃、大玉スイカが入荷増の単価安、アンデスメロンが入荷並の単価安、デラウェアが入荷減の単価高、アールスメロンが、入荷減の単価前年並み、ハウスミカンが入荷減の単価安となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が19%減少し、価格は13%高となった。 リンゴ類は、入荷が33%増加し、価格は24%安となった。 桜桃は、入荷が31%増加し、価格は13%安となった。 ブドウ類は、入荷が18%減少し、価格は7%高となった。 メロン類は、入荷が4%減少し、価格は9%安となった。 スイカ類は、入荷が12%増加し、価格は10%安となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】 長ダイコン</p>	<p>青森県，北海道，千葉県を中心に，長崎県，鹿児島県からの入荷。主力の青森県，北海道で，栽培面積が減少しており，全体の入荷量は，前年同期を14%下回った。 価格は，入荷減により，前年同期を13%上回った。</p>
<p>西洋ニンジン</p>	<p>兵庫県，長崎県を中心に，和歌山県，徳島県からの入荷。各産地ともに生育期の天候不順から細物傾向での入荷となった。入荷量は，入荷の少なかった前年同期並みとなった。 価格は，太物の入荷が少なく，前年同期を18%下回った。</p>
<p>【葉菜類】 ハクサイ</p>	<p>長野県を中心に，熊本県，群馬県，茨城県，大分県からの入荷。各産地ともに，生育期の低温，干ばつの影響から生育の遅れがみられ，入荷量は，前年同期を10%下回った。 価格は，入荷減ながら，小玉傾向での入荷であったことから，前年同期並みとなった。</p>
<p>キャベツ</p>	<p>茨城県，京都府を中心に，愛知県，兵庫県，大分県からの入荷。各産地ともに，生育期の低温，干ばつの影響から生育の遅れがみられたものの，入荷量は，入荷の少なかった前年同期を3%上回った。 価格は，前年が高値であったことから，前年同期を31%下回った。</p>
<p>ホウレンソウ</p>	<p>岐阜県を中心に，滋賀県，京都府，茨城県，北海道からの入荷。主力の岐阜県産の入荷は，順調であったものの，茨城県産が原発事故の影響から大幅な入荷減となり，全体の入荷量は，前年同期を5%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を16%上回った。</p>
<p>レタス</p>	<p>長野県を中心に，山梨県，北海道，群馬県，兵庫県からの入荷。例年主力となる兵庫県産で，生育期の天候不順により作柄不良がみられ，出荷時期を早めたことから，本月は入荷減となった。全体の入荷量は，前年同期を7%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を13%上回った。</p>

【果菜類】

キュウリ

滋賀県，宮崎県，高知県を中心に，京都府，福岡県からの入荷。
滋賀県産，京都府産で，生育期の低温の影響から生育の遅れがみられ，全体の入荷量は，前年同期を18%下回った。
価格は，入荷減により前年同期を35%上回った。

ナス

高知県を中心に，岡山県，京都府，滋賀県，徳島県からの入荷。
多くの産地で，天候不順の影響により生育の遅れがみられ，全体の入荷量は，前年同期を16%下回った。
価格は，入荷減により前年同期を24%上回った。

トマト

北海道，熊本県を中心に，福岡県，京都府，三重県からの入荷。
主力の北海道産で，天候不順の影響により生育の遅れがみられ，全体の入荷量は，前年同期を16%下回った。
価格は，入荷減により前年同期を9%上回った。

ピーマン

高知県，宮崎県を中心に茨城県，大分県からの入荷。
多くの産地で，生育期の天候不順により作柄が悪く，入荷量は，前年同期を17%下回った。
価格は，入荷減により前年同期を19%上回った。

【土物類】

バレイショ
(メーク含む)

長崎県を中心に，熊本県，北海道，静岡県，鹿児島県からの入荷。
各産地で，生育期の低温干ばつの影響から生育の遅れがみられたが，前年が入荷減であったことから全体の入荷量は，前年同期を3%上回った。
価格は，前年が高値であったことから，前年同期を7%下回った。

タマネギ

兵庫県を中心に，佐賀県，長崎県，中国，大阪府からの入荷。
各産地ともに作柄良好であったことから，堅調な入荷となった。
全体の入荷量は，前年同期並みとなった。
価格は，前年が高値であったことから，前年同期を26%下回った。

【その他野菜】

青ウメ

和歌山県を中心に，福井県，奈良県，京都府からの入荷。
各産地とも生育期の天候不順により生育の遅れがみられ，入荷量は，前年同期を5%下回った。
価格は，高値であった前年同期並みとなった。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	<p>佐賀県を中心に、長崎県、和歌山県からの入荷。 各産地ともに、収穫期の降雨の影響から正品率の低下がみられ、入荷量は、前年同期を4%下回った。 価格は、入荷減ながら品質が悪く、前年同期を3%下回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県からの入荷。 本年は、輸出の減少や着色不良の影響から産地での流通在庫が多い状況となっているため入荷量は、前年同期を66%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を25%下回った。</p>
桜桃	<p>山形県を中心に、山梨県からの入荷。 山梨県産では、生育期の低温の影響から正品率の低下がみられたものの、主力の山形県産では、豊作傾向となり、全体の入荷量は、前年同期を31%上回った。 価格は、入荷増であったこと、また、下位等級の入荷割合が高かったことから前年同期を13%下回った。</p>
デラウェア	<p>島根県を中心に、奈良県、大阪府、山梨県からの入荷。 各産地とも生育期の低温の影響から生育の遅れがみられ、入荷量は、前年同期を9%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を5%上回った。</p>
アールスメロン	<p>高知県、静岡県、熊本県を中心に、宮崎県からの入荷。 多くの産地で生産者の高齢化等により、栽培面積の減少がみられ、入荷量は、前年同期を12%下回った。 価格は、入荷減ながら、不況による需要の低迷から、前年同期並みとなった。</p>
アンデス	<p>茨城県、熊本県を中心に、山形県からの入荷。 山形県産では、生育期の天候不順により生育の遅れがみられ入荷減となったものの、熊本県産の入荷が順調であったことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、下位等級の入荷割合が高かったことから、前年同期を11%下回った。</p>
大玉スイカ	<p>鳥取県を中心に、熊本県、愛知県、長崎県、高知県からの入荷。 主力の鳥取県産は、生育期の天候不順により生育の遅れがみられ入荷減となったものの、中央集散機能の発揮により全体の入荷量は、前年同期を19%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を9%下回った。</p>